

令和6年度 学校経営方針

丹波篠山市立西紀南小学校

1 学校経営の基本方針

安全・安心で保護者・地域とともにある学校づくり

- 子どもの成長のため、学校と保護者と地域が絆を深め、高め合う「チームみなみ」
- ふるさとに夢や誇りを持ち、未来へつなぐ、持続可能な社会の創り手の育成
- 個別最適な学びと協働的な学び、ワーク・ライフ・バランスを意識した実践

2 教育目標

自ら考え、進んで学び、未来を切り拓く児童の育成
～もっとチャレンジするみなみっ子～

3 めざす児童像

※合い言葉は「もっと」

自ら考え行動する子	・自分の意志や判断に基づいて行動できる児童、想定外のことに柔軟に対応できる児童を育てる。
進んで学ぶ子	・将来の夢や目標を持ち、自ら学び続け、可能性を伸ばす児童を育てる。
チャレンジする子	・様々なことに積極的に挑戦し、ねばり強く最後までやり遂げる、心身ともにたくましい児童を育てる。

4 めざす学校像

子どもからは → 楽しい学校（達成感のある授業、自己実現と自己有用感、生きる力の育成）

保護者からは → 通わせたい学校（安全安心な学校、確かな学力の定着、親身で信頼できる先生）

地域からは → 信頼できる学校（学校支援、誇りに思える学校、地域のランドマーク）

教職員からは → やりがいのある学校（実践的指導力の向上、教職員の協働、働き方改革）

5 めざす教職員像

「当意即妙」（即座に場に適した機転を利かせること。把握→判断→行動。）

- (1) 教育に情熱をもち、資質向上をめざす教職員
- (2) 視野（知識と教養）を広げ、人間としての成長を図る教職員
- (3) 家庭・地域と連携し、信頼される教職員
- (4) 組織の一員として協働し、危機管理能力を高める教職員

6 重点目標

(1) 安全安心な学校づくりを基盤にした、豊かな心の育成

- ・ 安全管理と安全教育の充実を図り、安全で安心な学校づくりを徹底する。
- ・ 道徳教育及び人権教育・多文化共生教育を推進するとともに、児童の内面理解に基づく生徒指導の充実を図る。
- ・ 児童一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供等、きめ細かく適切な教育的支援を行うとともに、ユニバーサルな学校づくりを推進する。

(2) 表現力の育成をめざした確かな学力・生きる力の育成

- ・ 学習習慣、学習規律の定着に努め、基礎的基本的な知識・技能を確実に習得させる。同時にことばの力を高める活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力を育成する。
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」をICTを効果的に活用して推進する。
- ・ 保護者との連携協力により、家庭学習の充実や読書活動の推進を図る。

(3) 生活習慣の定着と指導体制の充実

- ・ 「『みなみん』みんなの約束」が定着するよう指導にあたる。
- ・ いじめの未然防止や早期発見・早期対応、問題行動事案における組織的な対応の充実を図る。
- ・ 教職員がワーク・ライフ・バランスを図り、心身ともに健康で指導力を発揮できるよう、働きがいのある学校づくりを推進する。

(4) 保護者・地域とともにある学校づくりの推進

- ・ 学校運営協議会を核に、保護者や地域の声に耳を傾け、地域人材や地域資源の活用を図りながら、ふるさと教育を積極的に推進する。
- ・ 幼小中の滑らかな接続のため、幼小中連携の充実を図る。
- ・ 関係機関や諸団体等と必要に応じて適切に連携を図る。